

保健だより 11月号

2025年11月6日

潮来高等学校

保健室

この時期は朝晩と日中の気温差が大きい日も多く、体調を崩しやすくなります。インフルエンザや風邪が増えるこれからの季節は、今まで以上に手洗いやうがいをして、予防に努めましょう。

保健室の担当が、井坂先生から河野に変わりました。よろしくお願いします！

性教育講話について

10月8日（水）に、かすみ保健福祉センターの保健師 小倉千代実先生から、性に関する講話が行われました。男女の体の違いから、命の大切さや多様性など様々なことを学ぶことができました。「性」は「生きること」につながるがよくわかりました。

みなさんからの感想をお送りしたところ「みなさんがいろいろと感じてくれて、嬉しく思っています。」とのことでした。また、質問にも答えてくれましたので、みなさんの進路や将来の参考になったらよいなと思います。



質問1 小倉先生は、なぜ保健師になったのですか？

高校3年生で、今後の進路を考えた時に、『自分の家族の健康を守りたい』という想いで看護師になるために看護学校へ進学しました。その学校では保健師の免許もとれるので、授業で保健師について学んでいくうちに『自分は家族だけでなく地域に住む住民さんの健康も守る仕事がしたい』と思い保健師になりました。



質問2 性を教えることの大切さはなんですか？

「性」や「生」について知ることで人生がよくなるからです。具体的には、男性や女性のからだのこと、自分と相手のからだやこころの違いについて知って認めることで、自分のことも相手のことも大切にできます。単にからだの勉強だけでなく、人権についての勉強なんです。

そして「性」について正しい知識がある方が、性犯罪が減るという統計データも世界で出ています。

男性も女性も、どちらでもないと思っている人も、みんなが幸せに暮らしていけるように講話を続けていきたいと思っています。



とても丁寧に答えてくださいました。小倉先生に感謝ですね。